



そうだしつから

平成30年11月23日発行

お知らせ

10月16日(火)『食は命なり』と題して、食育指導士の霜鳥英梨先生からご講演いただきました。

とても興味深い内容で、私たちの体はすべて『食べ物』からできている。『何を食べるか』が大切だということを教えていただきました。最後は、先生が監修された絵本「ごはんのにおい」を読んでいただき、絵本が読み終わる頃にいい匂いが・・・『新之助』の新米が炊け、炊きたての白いご飯を皆でいただきました。

5歳児のおともだちも自分でおにぎりをにぎって「おいしい！」と炊きたての白いご飯をほおばっていました。生きる力の大切なことを教えていただいた講演会でした。

できれば、大勢の保護者様に聞いていただきたいと思い、第2回目の講演会を企画しています。

●平成31年3月9日(土) 午前10時～12時を予定しています。近くなりましたら、またご案内いたします。ぜひ、ご参加ください。

子どもがいけない事をしたときに、どう教えたらいいのか、迷います。

『感情的に怒ってはいけない』ことはわかりますが、日常で、子育てに奮闘していると『わかっているが難しい』ことはありますよね。

『つい子どもを怒ってしまう』という相談も多くありますので、叱るときのポイントについてご紹介します。

① 具体的に。短く、その場で。

長々と注意しても「嫌だった」気持ちだけが残ります。また、子どもは現在だけに集中して生きています。後で注意しても効果が薄くなります。

② 子どもの言い分を聞く。子どもなりの主張があるもの。子どもの話を聞いてみましょう。その間に親も冷静になれます。

③ ついでに言わない。興奮してくると次々と昔のことまで引き合いにだしてしまいがち。全人格の否定にならないように。

④ 断言しない。「絶対」「当たり前」「決まっている」といった決めつけの言葉は使わない。そうでない場合もあります。「～したほうが良いと思うよ。」と言うと、「そうしようかな」と思います。

⑤ 逃げ道を残す。②③④が逃げ道となります。

参考・引用：たがのわ(心力舎)



新しい本紹介

- 心屋仁之助の「いい人」をやめてスッキリする話
- こどもはママのちっちゃな神さま
- わたしがあなたを選びました

他、はみがきの絵本など新しい絵本が入りました。どうぞお立ち寄りください。

10月の相談件数

育児について	15件
育児不安	1件
サービス	19件
その他	15件
利用件数	50件



燕市吉田東栄町34番10号
0256-78-7804
利用者支援事業
きらら